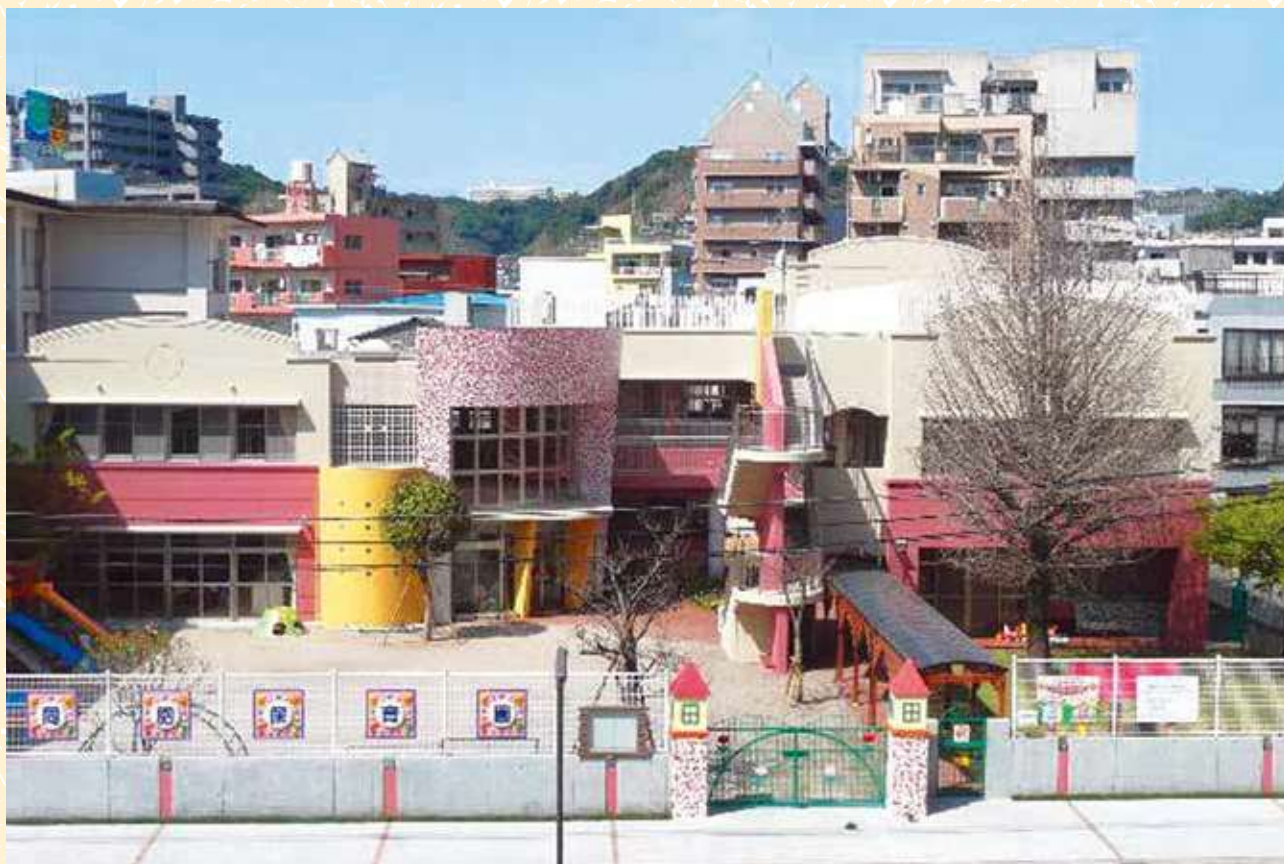


4 保育所 同胞保育園



【定員 150人】

〒892-0819 鹿児島市柳町3-20

電話：099-222-2654 FAX：099-222-2694

e-mail：douhou@kagoshima-swc.jp

◆施設の運営理念・方針

「のびのびと健やかな体と思いやりのあるやさしい心をそだてよう」

「子どもの主体性を生かし、動と静を大切に豊かな感性をそだてよう」

- 一人ひとりの個性・感性を大切にして、様々な環境の中で子どもの育ちを見守る保育を行います。
- 子ども・保護者・地域の方と共に、活動を通して笑顔あふれるふれあいの場を大切にしていきたいと思います。
- 地域子育て支援の拠点として、子育て相談や地域の子育て家庭の交流を積極的に行います。

1 施設の目指すべき姿

- ・一人ひとりの個性・感性を大切にし、子ども・保護者の思いに寄り添い、子どもの「育ちを見守る保育」に心がけていきます。併せて、養護と教育が一体となった保育の提供に努め、子どもの最善の利益を保障します。
- ・保育園に併設している地域子育て支援センターと一体となり、乳幼児期から学童期まで切れ目のない支援を行うとともに、地域の子育ての拠点としての取組を行います
- ・地域や関係機関との連携・交流を深め、地域から愛され、必要とされる保育園を目指します。

2 施設を取り巻く環境

- ・2030年に80万人を割り込むと予測されていた国内出生数は、2023年時点で72万7277人となり、今後も少子化は加速すると考えられています。
鹿児島市は、保育施設の定員充足率も年々下がってきており、待機児童も令和6年4月1日には、0人になりました。さらに、育児休業制度が充実したこと、企業主導型保育園や0～2歳児を対象とした小規模保育園の設置等により、0歳児の入所が減少傾向にあります。
- ・職員の状況を見ると、保育士の離職率は、全産業の15.0%に比べると、保育所全体で9.3%と低いですが、保育士の有効求人倍率は2.42倍であり、全職種平均の1.18倍と比べると、高い水準で推移しており、保育士不足は今後も続くと予想されます。
- ・制度面等では、「こども基本法」の施行、「こども大綱」が策定され、具体的に取り組む施策をとりまとめた「こどもまんなか実行計画2024」が決定されました。
鹿児島市においても、第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画が令和6年度で終了となり、第3期計画が策定されています。
- ・その他にも、職員配置基準の改善と加算措置が設けられ、「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設されています。
また、令和4年度末より、保育所・認定こども園等における不適切な保育・虐待案件が全国的に問題となっており、保育士の資質向上のための育成が重要課題となっています。



エントランス



5歳児保育室



0歳児保育室

3 施設における課題

- ・ 鹿児島市の待機児童解消のための施策が進み、当施設の入所数は減少しており、特に0歳児の入所数の減少が大きくなっている一方で、様々な課題を抱えた子育て家庭が増えています。これからもますます保育所の役割が重要視されている中で、今後の保育所運営のあり方について検討していく必要があります。
- ・ 保育士不足がさらに深刻化する中、保育士の確保が最優先の課題であり、そのためには保育士がやりがいと希望を持って働ける職場づくりを行う必要があります。
- ・ 支援を多く要する子どもが年々増加していることに加え、社会的に適切な保育ができることが重要とされているため、支援技術の向上や資質向上のための保育士の育成が必要です。
- ・ 乳幼児期から学童期まで継続的な支援を行うことができるよう、地域の様々な専門機関と連携を図りながら、地域子育て支援センターを併設する保育所としての役割を果たしていく必要があります。



運動教室



七夕



園庭遊び

4 計画の目標

(1) 質の高いサービスの提供

- 一人ひとりの個性・感性を大切にし、健やかな身体とやさしい心を養うための保育を行うとともに、安全・安心な保育環境の整備を行い、子どもたちの育ちを見守る保育園づくりに努めます。
- 障害のある子や支援を要する子に対して、臨床心理士や作業療法士、理学療法士による幼児保育相談の充実を図り、一人ひとりの個性を大切にしながら保護者や関係機関と情報を共有し、支援の充実を図ります。
- 乳幼児期における食に関する習慣の定着と食を通して人格形成や家族関係づくりによる心身の健全育成を図るため、保育士・栄養士・調理師・看護師等が協力して食育を推進していきます。
- 虐待防止について、行政機関との情報共有を行うとともに、適切な保育が実践できるよう定期的な虐待防止委員会の実施や保育の振り返りを行い、子どもの人権が保障できるよう努めます。
- 福祉サービスについて、自己評価や利用者評価から見てきた施設の課題と保護者ニーズを明確にし、サービスの質の向上に努めていきます。

《重点的な取組》

- ・ 専門職を活用した幼児保育相談の充実
- ・ 虐待に関する関係機関との連携と適切な保育の実践



室内遊び



生活発表会



運動会

(2) 地域福祉の推進

- 地域とのふれあいの場を設けることで、地域に愛される保育園をめざし、災害時の要援護者に対して求められる役割を積極的に果たすとともに、相互の協力体制の構築を図ります。
- 重層的支援体制事業の一環として、地域に開かれた運営を行い、関係機関や子育て支援活動を実施する団体と連携の構築を図ります。
- 地域子育て支援センターにおいては、地域の子育て家庭に対する相談支援を行うとともに、子育てに関する情報提供等を行い、子育ての孤立化を防ぎ育児不安の解消に向けた支援に努めます。

《重点的な取り組み》

- ・ 地域子育て支援センターの充実
- ・ 現況を踏まえた地域資源の活用と地域交流

地域子育て支援センター



食育講座



節分大会



夏祭り

(3) 経営基盤の強化

- 入所児童の確保と特別保育事業（障害児保育・一時預かり事業等）の充実を図りながら経営の安定化に努めます。
- 月次実績報告等を活用して経営意識の醸成を図るとともに、業務の見直しと経費削減を行い、施設の効率的な管理運営や事業執行に努めます。
- 保育士の確保及び定着・育成につながるよう、保育者が働きやすい職場環境を整えるとともに、安定的なクラス運営から施設運営に努めます。

《重点的な取組》

- ・ 入所児童確保のための更なる保育士の確保
- ・ 保育業務軽減のための効果的な業務・設備の見直し



クラス保育活動（お寿司屋さん）

避難訓練



きゅうり苗植え

クッキング



(4) 人材の育成

- 一人ひとりの個性・感性を大切にし、子どもの育ちを見守る保育を提供するため、保育技術の向上に努めるとともに、保育士の専門的な知識の習得に努めます。
- 保育士のキャリアアップに繋がる専門研修へ積極的に参加し、保育士の専門性を高めます。
- 新人保育士育成のマニュアルを活かし、保育士としてのレベルアップに計画的に取り組み保育の質の向上に努めます。
- 保育士の確保及び定着を図るため、様々な働き方に対応し職員が働きやすい職場環境づくりに努めます。

《重点的な取り組み》

- ・ 新任保育士育成のためのマニュアルを活かした研修の実施
- ・ 保育士の技術力アップへの取り組み強化



人権研修



クッキング（シチュー）



5 保育所 鹿児島みなみ保育園



【定員 110人】

〒890-0068 鹿児島市東郡元町18-3

電話：099-253-3145 FAX：099-253-3146

e-mail：k-minami@kagoshima-swc.jp

◆施設の運営理念・方針

- 子ども一人ひとりに寄り添い、保護者や地域との連携・交流を通じて“みんなから愛される保育園”を目指します。
- 知育・徳育・体育をバランス良く身につけ、素直で優しい心や相手に対する思いやり、頑張った時の達成感を感じることができる子どもを育成します。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える子どもを育成します。
- 最後まで頑張れる子どもを育成します。

1 施設の目指すべき姿

- ・子ども一人ひとりに寄り添い、個々を大切にした保育サービスを提供します。
- ・サービスの提供にあたっては、知育・徳育・体育をバランスよく養い、素直で優しい心を育て、自己の達成感を感じることでできる子どもを育成します。
- ・保育内容や保育環境を常に見直しながら、保護者が安心して子どもを託せる保育園の運営を行います。
- ・地域や関係機関との連携・交流を深め、地域から愛され、必要とされる保育園を目指します。

2 施設を取り巻く環境

- ・2030年に80万人を割り込むと予測されていた国内出生数は、2023年時点で72万7277人となり、今後も少子化は加速すると考えられています。
鹿児島市は、保育施設の定員充足率も年々下がってきており、待機児童も令和6年4月1日には、0人になりました。さらに、育児休業制度が充実したこと、企業主導型保育園や0～2歳児を対象とした小規模保育園の設置等により、0歳児の入所が減少傾向にあります。
- ・職員の状況を見ると、保育士の離職率は、全産業の15.0%に比べると、保育所全体で9.3%と低いですが、保育士の有効求人倍率は2.42倍であり、全職種平均の1.18倍と比べると、高い水準で推移しており、保育士不足は今後も続くと予想されます。
- ・制度面等では、「こども基本法」の施行、「こども大綱」が策定され、具体的に取り組む施策をとりまとめた「こどもまんなか実行計画2024」が決定されました。
鹿児島市においても、第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画が令和6年度で終了となり、第3期計画が策定されています。
- ・その他にも、職員配置基準の改善と加算措置が設けられ、「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設されています。
また、令和4年度末より、保育所・認定こども園等における不適切な保育・虐待案件が全国的に問題となっており、保育士の資質向上のための育成が重要課題となっています。



保育室



園庭

3 施設における課題

- ・ 少子化や育児休業制度の充実により低年齢児の入所が減少傾向にある中、積極的に入所児童を受け入れるため、関係機関との連携を図り、安定的な収入の確保を図る必要があります。
- ・ 安定した経営をするために、保育士確保が最優先課題であり、保育士がやりがいと希望を持って働ける職場作りを行う必要があります。また、定員の見直し、認定こども園への移行、新たな事業展開を視野に入れた今後の施設経営のあり方について検討する必要があります。
- ・ 支援を要する子どもが年々増加していることに加え、社会的に適切な保育ができることが重要視されており、支援技術や資質の向上を図るため人材育成が必要です。
- ・ 入所児童の親子支援だけではなく、地域に必要とされる施設になるため、地域の行事等への積極的な参加や地域の育児不安等を抱える子育て中の親に対して、子育て支援を充実させていく必要があります。
- ・ 全面改築から10年以上経過しており、入所児童の安全な保育環境を確保する観点から、建物・設備等の点検・修繕を計画的に行う必要があります。



2階テラス遊び



トンボのメガネ



4 計画の目標

(1) 質の高いサービスの提供

- 事業団基本理念、園の保育理念に基づき、心身ともに豊かで健やかに育つための教育・保育の内容、保育環境の充実を図るとともに、保護者が安心して子どもを託せる保育園を目指します。
- 虐待防止について、行政機関との情報共有を行うとともに、適切な保育が実践できるよう定期的な虐待防止委員会の実施や保育の振り返りを行い、子どもの人権が保障できるよう努めます。
- 障害のある子や支援を要する子に対し、保護者や関係機関と情報を共有し、支援内容の充実を図るため、理学療法士、言語聴覚士や心理士等の専門職による幼児保育相談を実施します。
- 子どもの保育環境の安全確保の観点から、防災面については各種訓練を行うとともに、健康状態の把握に努めながら感染症・食中毒予防のため、衛生意識の向上を図ります。
- 子どもの事故防止を図るため、職員会議等でヒヤリハット・事故報告書の原因分析や情報共有を図りながら、再発防止に努めるとともに、危険に対する気づき、予測、回避能力の向上に努めます。
- 建物・設備等の点検・修繕を計画的に行い、保育環境を整備し、利用者に評価され、選ばれる保育園作りに努めます。

《重点的な取組み》

- ・ 専門職を活用した幼児保育相談の充実
- ・ 虐待に関する関係機関との連携と適切な保育の実践



芋苗植え遠足（川内自興園）



アートクラブ



食育講座



リズム＆運動遊び

(2) 地域福祉の推進

- 地域の子育て世帯を対象とした子育て支援事業の充実を図り、子育てに関する不安感の緩和に努めます。
- 地域から愛される保育園づくりを目指し、地域行事への参加、世代間交流の場を展開します。

《重点的な取組み》

- ・ 地域子育て支援事業の充実
- ・ 地域行事への積極的参加及び世代間交流の充実



にこにこランド



南郡元長寿会との交流



町内夏祭りに参加

(3) 経営基盤の強化

- 入所児童の確保と特別保育事業（延長保育、一時預かり事業、障害児保育、療育支援）の充実を図りながら、経営の安定化に努めます。
- 月次実績報告等を活用して、経営意識の醸成を図るとともに、業務の見直しや経費節減等を行い、施設の効率的な管理運営や事業執行に努めます。
- 安定的に保育士を確保するため、積極的に情報発信を行うとともに、職員が働きがいのある職場環境作りを行います。

《重点的な取り組み》

- ・収入の確保と経費・業務の見直し
- ・職員の確保・定着・離職防止

(4) 人材の育成

- キャリアアップ研修をはじめ、職員個々に合わせた研修に派遣し、保育技術、知識の向上に努めます。
- 経験年数が浅い職員もいるため、読みきかせ等の実践的な内容については、講師を招聘して、技術の習得に努めます。
- 発達障害や支援を要する児童の支援等については、他施設で実施しているコンサルテーションに職員を派遣し、理解に努めます。

《重点的な取り組み》

- ・個々の保育技術向上と保育内容の充実



職場内研修



運動会

6 地域子育て支援拠点事業 南部親子つどいの広場



〒891-0117 鹿児島市西谷山1丁目3-2
電 話：099-266-6501 FAX：099-266-6502
e-mail：tanikkorin@kagoshima-swc.jp

◆施設の運営理念・方針

- 子育て中の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流する場を提供し、子育て支援についての専門職員を配置し、利用者の子育てに係る負担感の緩和を図ります。
- 利用者の安心・安全を最大限に配慮し、快適な環境のもとで施設を利用できるよう、より効果的な組織・体制による適切な施設管理を行います。
- 鹿児島市の子ども・子育て支援施策の一環を担う事業として、南部保健センターとの連携のもと、地域の子育て力の向上と支援機能の充実を図ります。
- 事業団の経営する多種多様な福祉施設の運用実績と、保育園における子育て支援事業実施による専門性を活用し、つどいの広場事業の円滑な運営管理に努めます。

1 施設の目指すべき姿

- ・子育て親子の交流等を促進し、親の子育てへの不安感を緩和することで、子どもの健やかな育ちを促進します。
- ・地域における子育て支援拠点として、子育て家庭が安心して子育てできる環境の場を提供します。
- ・サービスの提供にあたっては、多種多様な福祉施設を有する事業団の専門性を活用するとともに、南部保健センターをはじめとした地域の関係団体との連携を図り、つどいの広場事業の円滑な運営管理を行います。

2 施設を取り巻く環境

- ・鹿児島市は、地域資源との協働や連携による子育て環境の充実、地域の子育て力を高める取組を展開しており、親子が集う場の提供を目的として、地域子育て支援拠点事業所であるすこやか子育て交流館（りぼんかん）を中心に各地域に1か所ずつ設置しています。
- ・2023年の国内での出生数は72万7277人で、8年連続で過去最少を更新しており、今後も、少子化は加速すると考えられ、保育施設の定員充足率も年々下がってきており、保育園に入所できないため利用していた親子の利用は減少していくものと考えられます。
- ・鹿児島市と事業の具体的目標値「総利用者数61,000人（一日あたり175人）」、「一時預かり件数1,800人」、「相談件数2,000件」、「利用者満足度90%以上」を設定した協定を締結しています。
- ・こどもの健康、発育をはじめ、情緒面や発達に不安を抱えている保護者が多い傾向にあります。その他にも、平成25年の開館以来、長年に渡る実績が認知されてきており、様々な講座の参加や各専門職への相談件数が多くなっています。



子ども広場



一時預り

3 施設における課題

- ・親子で楽しむイベントや講座のニーズは高く、専門相談等も増えているが、人員不足により参加定員や回数が制限されているのが現状です。安定した運営を行っていくためには人材の確保が最優先課題です。
- ・鹿児島市の子ども・子育て支援施策の一端を担う事業として、職員一人ひとりの専門知識の習得やコーディネート力、ソーシャルワーク技術が求められます。
- ・利用者からの子育てに関する悩みや相談を受けた際、専門の機関がある場合は円滑に繋ぐことができるよう、関係機関と連携を図りながら切れ目のない支援体制の構築が必要です。



おんがく音泉



春のコンサート



縁日ごっこ

4 計画の目標

(1) 質の高いサービスの提供

- 鹿児島市の子ども・子育て支援施策の一端を担う事業として、南部保健センターと連携のもと、妊娠期から子育て中の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流する場を提供します。
- 事業団で取り組んでいる各福祉分野での豊富な知識、実績、多種多様な人材を活用した専門的な講座及び相談を実施し、子育てに係る不安感の緩和、充実感を得られるように支援します。
- 利用者のニーズを把握し、必要に応じた地域情報の提供や社会資源につなぐ利用者支援事業を行うことにより、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与します。

《重点的取り組み》

- ・ 利用者のニーズを踏まえ、事業団が経営する施設の専門職を活かした専門的な講座、相談を実施
- ・ 自主提案事業 親育ち講座（NP・予防型プログラム）の実施



理学療法士講座



離乳食講座



自主提案事業



マタニティ講座

（２）地域福祉の推進

- 保健センターや様々な関係機関、子育て支援活動を実施する団体等との連携を図り、子育て力の向上と支援体制の充実、強化を図ります。
- 近隣学校や高齢者福祉センターと継続的に連携し、地域の情報を共有しながら地域に密着したつどいの広場を展開していきます。

《重点的取り組み》

- ・ 保健センターと連携強化
- ・ 近隣学校（大学・高校等）と共同した子育て支援の充実
- ・ 高齢者福祉センターとのタイアップ事業（伝統文化や行事等）の充実



国際大学生とあそぼう・鹿大看護実習生によるミニイベント



七夕交流会・正月遊び（高齢者福祉センター）

(3) 経営基盤の強化

- 指定管理者として鹿児島市と締結した基本協定を誠実に履行し、鹿児島市との信頼関係を深めると共に管理運営の適切な執行を行います。

(4) 人材の育成

- 地域子育て支援拠点事業所の支援者としての資質を高めるため、親子つどいの広場に関する研修に参加します。
- コーディネート力、コミュニケーション力といったソーシャルワーク技術を高めるための研修等に参加し、職員一人ひとりの技術向上を図ります。

《重点的取り組み》

- ・ 支援に必要な外部研修（子育て支援員、子育て支援士一種、子育て支援コーディネーター等）の参加と資格取得



外部講師による職場内研修

広場でのミニイベント（1日2回）

